

歴史的仮名遣い・行書の特徴・部首

中学校

(1) 次は、中国の『韓非子』かんひしという本にある話とその現代語訳です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【話】楚人(そひと)に盾と矛とをひさぐ者あり。これをほめていはく、「わが盾の堅きこと、よくとほすなきなり。」と。またその矛をほめていはく、「わが矛の利なること、物においてとほさざるなし。」と。ある人はく、「子(し)の矛をもって、子(し)の盾をとほさばいかん。」と。その人応(こた)ふることあたはざるなり。

【現代語訳】楚の国の人に盾と矛とを売る者がいた。その盾をほめて言うには、「わたしの盾の堅いことといったら、突き通せるものはない。」と。またその矛をほめて言うには、「わたしの矛の鋭いことといったら、どんなものでも突き通さないことはない。」と。ある人が言うには、「あなたの矛で、あなたの盾を突き通したらどうなるか。」と。その人は答えることができなかった。

① — 線部「とほさざるなし」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

② 〓 線部「いはく」の意味を現代語訳から抜き出しなさい。

①	②
---	---

(2) 次の行書で書いた漢字の○で囲まれた部分の㉠と㉡の特徴として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つずつ選びなさい。



- | | |
|---------|--------------|
| 1 筆順の変化 | 2 点画の連続 |
| 3 点画の省略 | 4 点画の方向や形の変化 |

㉠	㉡
---	---

(3) 次の 朝 胃 服 内の三つの漢字と同じ部首に属する漢字を、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

朝 胃 服

- | | |
|-----|-----|
| 1 潮 | 2 望 |
| 3 骨 | 4 勝 |

--

歴史的仮名遣い・行書の特徴・部首

解答

(1) 次は、中国の『韓非子』かんひしという本にある話とその現代語訳です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【話】楚人(そひと)に盾と矛とをひさぐ者あり。これをほめていはく、「わが盾の堅きこと、よくとほすなきなり。」と。またその矛をほめていはく、「わが矛の利なること、物においてとほさざるなし。」と。ある人はく、「子(し)の矛をもって、子(し)の盾をとほさばいかん。」と。その人応(こた)ふることあたはざるなり。

【現代語訳】楚の国の人に盾と矛とを売る者がいた。その盾をほめて言うには、「わたしの盾の堅いことといったら、突き通せるものはない。」と。またその矛をほめて言うには、「わたしの矛の鋭いことといったら、どんなものでも突き通さないことはない。」と。ある人が言うには、「あなたの矛で、あなたの盾を突き通したらどうなるか。」と。その人は答えることができなかった。

① — 線部「とほさざるなし」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

② || 線部「いはく」の意味を現代語訳から抜き出さなさい。

① とおさざるなし ② 言うには

(2) 次の行書で書いた漢字の○で囲まれた部分の㉑と㉒の特徴として最も適切なものを、あとの1から4までのの中から一つずつ選びなさい。



- 1 筆順の変化
- 2 点画の連続
- 3 点画の省略
- 4 点画の方向や形の変化

㉑	㉒
4	3

(3) 次の()内の三つの漢字と同じ部首に属する漢字を、あとの1から4までのの中から一つ選びなさい。

朝 胃 服

- 1 潮
- 2 望
- 3 骨
- 4 勝

2